

工学部「夢科学探検 2015」への出展

須恵耕二，松田樹也

電気情報技術系

1 出展の経緯

工学部が地域貢献事業として毎年行っている「夢科学探検 2015」（平成 25 年 11 月 1 日開催）に「点字入り名刺カードを作ろう！」というテーマで出展したので報告する。

ここ 5 年ほどの盲学校用向け学習支援機器開発・寄贈の取組みでは、複数の学内公募型学生プロジェクトと JSPS 科研費（奨励研究）の採択等を受けた新教具を創出し、うち 1 つは全国全ての点字を教える盲学校等に寄贈する等、140 台以上の寄贈実績を上げており、今後も増えていくことが見込まれている。

このような取組みを大学で行っていることを PR すると共に、やってくる子供・保護者の皆さんに「点字」の仕組みを知って頂き、視覚障害者への理解を深めて頂く機会とすることに繋がれば、と出展した。

2 出展の内容

今回出展したのは、点字を自分の手で打刻する「点字器」を使って自分の名刺に点字を入れる、という作業型ブースである。3 台の点字器を用意し、名前を手書きした名刺カードをセットして、自分の名前の点字を打ち込んで貰い、記念に持ち帰るという内容である。

また、科研費等でこれまで開発・提供してきた幾つかのオリジナル教具を機器展示した他、熊本県立盲学校の協力で、世界標準の点字タイプライター「パーキンス・ブレイラー」(Perkins Braille)の実機をお借りできたので、展示機器の目玉として加えさせて頂いた。

出展にあたり、学生サークル「音声点字 Soleil」より、教職課程の実習を本ブースで行いたいと申し出た学生ら若干名が加わり、共に準備して出展に至った。

総合研究棟 1 階玄関ホールに場所を借りることが出来たおかげで、午前 10 時の開始時刻から終了の午後 3 時まで、全く途切れることなく親子連れがやってきて、カード作りや展示機器の操作体験を楽しんだ。パソコンで上映した全盲児の点字打刻の様子（動画）には、そのあまりの速さに驚いていた様子であった。



図 1 出展の様子



図 2 名刺に点字を打つ来場者

3 まとめ

科学の体験学習とはやや主旨の異なる出展ではあったが、技術部で生まれたものが学生を主役とした取り組みとなり、全国の視覚障害者のお役に立っていることを知って頂く良い機会となった。参加された親子連れにも大変好評であったので、次年度は学生サークルの出展として引き継いで貰うことになっている。